

令和初の全国植樹祭が愛知県にて開催

純広告から名刺広告まで幅広く集稿

「第70回全国植樹祭あいち2019」開催記念特集

時代が令和に移って初めてとなる全国植樹祭が6月2日、愛知県尾張旭市と名古屋市守山区にまたがる県森林公園をメイン会場で開催された。天皇・皇后両陛下が代替わり後の最初の地方公務として、また、植樹祭での天皇のお言葉は11年ぶりとなるなど、大きな注目が集まった。

70回目の節目にも重なる今回のテーマは「木に託す もり・まち・人の あす・未来」。戦後復興期に始まり、原野や荒廃地での造林の意味合いが強かった植樹祭は、時代とともに自然保護や緑の大切さを伝え、考える機会となっていた。

当日は両陛下の植樹の介添えや、大会テーマを表現したアトラクションで若い力が躍動。全国の林業従事者や、木を使う手工業、製造業の関係者などが愛知に集結した。紙面は編集&広告の特集を計6ページで構成し、愛知県知事の挨拶や関連イベント、大会に向けた自治体の取り組みなどを紹介。セールス面では、植樹祭自体の協賛にも名を連ねた企業や団体を中心に粘り強く営業した結果、純広告から社名広告まで幅広く集稿に成功した。

この場を借りて、関係各位のご協力に感謝いたします。

名古屋本社広告二部 緒方直晃



※J-MONITORより、一部抜粋

「読者の声」

～全国植樹祭2019が愛知県で開催されることへの感想・意見～

- ・地球温暖化を防ぐことが愛知県から始まり全国へ、世界へ繋がれば良いと思う。(30代・男性)
- ・植樹祭というものを初めて知った。市町村で行われた(木製地球儀)のラリーに興味を持った。(30代・女性)
- ・地方が気にかけてもらえる良い機会だと思う。地元住民も植樹祭について興味を持つ良いきっかけになったと思う。(30代・女性)
- ・愛知が林業も盛んであることを全国にアピールできると思う。(40代・男性)
- ・これを機会に緑や木材に興味を持つ人が増えると良い。(40代・女性)
- ・自然環境に貢献できる内容で地元が注目されるのは、誇らしいことだと思う。(50代・男性)
- ・植樹した後の世話をする人材の育成も行ってもらいたい。(60代・男性)
- ・この特集を見て5年前前から、大会に向けた取り組みをしていることを初めて知った。すごい。(60代・女性)
- ・愛知の緑を大切にしてい気持ちを変えて感じた。(60代・女性)

6月1日付 中日新聞朝刊「第70回全国植樹祭あいち2019 開催記念特集」